

令和7年度 県立下妻特別支援学校 自己評価表

目指す学校像	ひとりひとりの笑顔が輝く「下特チーム」づくり *こころとからだにやさしい学校 *「夢や希望」に向かって努力する力を育てる学校 *信頼とつながりを大切にする学校		
	重 点 項 目	重 点 目 標	達 成 状 況
<p>・コミュニティ・スクールのスタートに向けて、学校の取組や課題の整理を行った。地域との協働による個別最適な学びの場となるよう、意見収集や学校運営協議会での話し合い方法、情報発信について検討していく。</p> <p>・緊急時の対応について継続した研修を行い、研修後の振り返りで、より迅速で適切な対応を行うための意見交換を実施した。初期対応の重要さや訓練目的を理解し、研修を行っていく。</p> <p>・職員の働き方改革とコンプライアンスの接続化を図った。さらに校務のスマート化、デジタル化を推進し、授業改善に重点的に取組む環境の整備を行っていく。またコンプライアンス意識を持続させるため、研修や取組のさらなる工夫も行う。</p> <p>・実態に応じた情報機器やアプリを活用することで、児童生徒が個々の手段で気持ちを伝えたり、選択や決定をしたりする場面を増やすことができた。研修の充実を図るとともに、情報機器、アプリ等の実践記録の蓄積と情報の共有の場を設定していく。</p> <p>・授業改善に向けた校内研修では、実態把握・情報共有ツールを試行し、課題や目標の設定、個に応じた授業内容の充実につなげることができた。教師間の協働をもとにした実態把握を行い、指導の方向性の共有とチームティーチングの効果を高めていく。</p>	安全・安心な学校づくり	①安心して学べる環境づくり（コンプライアンス確保） ②いじめ対策の充実（予防的取組と組織的対応） ③感染症防止対策の徹底 ④危機管理体制の見直しと強化 ⑤働き方改革の推進	B
	個性や特性に応じた指導・支援の充実	⑥個別最適な学びのための適切な指導・支援（分かる授業の実践） ⑦自立活動の指導内容を意識した教科指導の充実 ⑧ICT機器の有効活用による多様な学習活動の推進	B
	自立と社会参加に向けた教育活動の充実	⑨基本的な生活習慣と豊かな心の育成 ⑩系統的なキャリア教育の推進 ⑪体験的な学習の充実と実践 ⑫個に応じた適切な進路相談 ⑬交流等の共同学習の推進	C
	肢体不自由教育の専門性の向上	⑭アセスメント力の向上 ⑮確かな専門性と寄り添う支援 ⑯精神的・社会的自立（生活力支援の充実） ⑰校内研修等の充実 ⑱関係機関（医療・福祉等）との連携・協働	C
	センター的機能の充実	⑲組織的な支援の推進 ⑳教育相談・入試相談の充実 ㉑肢体不自由教育の取組の積極的な発信 ㉒個別の教育支援計画・個別の指導計画の作成と活用の支援 ㉓スポーツ・文化活動の推進	B